

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成20年12月11日(2008.12.11)

【公開番号】特開2007-125286(P2007-125286A)

【公開日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2007-019

【出願番号】特願2005-322136(P2005-322136)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 G

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月27日(2008.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を貯留する受皿が備えられ、前記受皿の底面に、遊技球を排出するための受皿開口部が設けられ、開放操作押圧面を有する球抜きレバーのスライド操作によって開閉部材を操作して前記受皿開口部を開閉できるように構成され、且つ、前記受皿開口部を常時閉鎖する方向に前記開閉部材を附勢する閉鎖附勢手段を備えた遊技機であって、

前記球抜きレバーが、前記スライド操作の方向に対して交叉軸心周りに所定回転角範囲で回転自在に前記開閉部材に枢着され、

前記球抜きレバーに、前記スライド操作による前記交叉軸心の開放操作移動軌跡を基準として前記開放操作押圧面とは反対側に係合部が延設され、

前記受皿側に、前記球抜きレバーの係合部を前記スライド操作に際して案内する係合部用ガイド部材が設けられ、

前記係合部用ガイド部材に、前記開閉部材が前記受皿開口部を開放する位置において前記係合部を係止するための係止部が設けられ、

前記係合部が前記係止部に係止される方向に附勢する係合附勢機構が設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記係合附勢機構が、前記球抜きレバーに、前記交叉軸心の開放操作移動軌跡に対して手前側に前記開放操作押圧面を設け、前記開放操作押圧面に対する押圧によって、前記係合部を前記ガイド部材に圧接するように前記交叉軸心周りに回転させるモーメントを発生させるように構成されている請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記係合附勢機構が、前記球抜きレバーに、前記係合部を前記係合部用ガイド部材に圧接するように前記交叉軸心周りに回転させるモーメントを発生させるバネを設けることで構成されている請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記係合部用ガイド部材は、前記受皿の正面手前側で、その下面の横方向に配置されたリブ状体で構成され、前記係止部は、前記球抜きレバーの係合部が嵌入するように前記リブ状体に形成された切り欠き部により構成されている請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【請求項 5】

前記球抜きレバーの開放操作押圧面に対する押圧操作により、前記閉鎖附勢手段の附勢力に抗して、前記球抜きレバーの係合部に対する嵌合方向とは反対方向の交叉軸心周りの回動力が付与されることによって、前記係合部の前記切り欠き部からの離脱を容易にするように、前記リブ状体の切り欠き端面に、前記球抜きレバーの開放操作の上手側から下手側に向けて傾斜したカム面が形成されている請求項 4 に記載の遊技機。